

高知県内で初めて集落営組織から法人化へ 永久的に地域の農地と地域文化を守るために

【類 型】 野菜 + 太陽光発電 + 6次産業化

【組 織 名】 株式会社サンビレッジ四万十（平成26年7月設立）

【所 在】 高知県高岡郡四万十町影野

【農業地域類型】 中山間農業地域

【構成戸数・人数】 25戸・25人

【経営規模（令和6年度実績）】

トウモロコシ 0.2ha

枝豆 0.25ha

その他作物 0.8ha



直販活動を展開

設立の経緯

- 影野地区では、1戸当たりの経営規模が小さく、過疎・高齢化に伴う担い手不足により、今後の農地管理に危機感を持っていた。
- 平成9年頃から基盤整備事業の導入を機に、事業完了後の営農を話し合うための「影野の農業を考える会」を平成11年頃に立ち上げた。
- 平成13年2月に、1集落1農場方式の「ビレッジ影野営農組合」を設立し、平成22年2月に「農事組合法人ビレッジ影野」を設立した。
- 事業の多角化を図るため、平成26年7月に株式会社に組織変更した。

取組の特徴・効果

- 環境への配慮や、資金繰りの安定等に向けて、営農型太陽光発電に取り組み、低日照条件下で栽培可能な品目を栽培している。
- 旧影野小学校区の広域で、地域農業を守る「（一社）四万十農産」が平成28年4月に設立され、その構成組織の1つとして、農地の利用調整や、機械・施設の貸借などの組織間連携により活動の一翼を担っている。
- 令和6年に生産部門を（一社）四万十農産に移し、太陽光発電と観光・交流などを含めた6次産業化（生産・加工・販売）の取り組みにシフト。

【具体的な取組内容】

仁井田地域の活性化に向けた取組

(一社)四万十農産

取組全体のまとめ役

- 農業生産を担う（水稻、野菜、作業受託など）
- 各地区・組織との連携

地域や組織を連携させて、人が集まり地域が元気になる取組を一体的に推進

(株)サンビレッジ四万十

6次産業化を進める

- 野菜、果樹等の加工販売
- 観光農園・交流活動
- 太陽光発電の運営

集落活動センター 「仁井田のりん家」

- 施設や人材の有効活用
- 加工施設、イベント会場の提供
- 地域とのつながりづくり

【主な機械・施設】

機械・施設名	能力等	台数等
格納庫	84㎡ 鉄筋	1棟
育苗施設	504㎡	1棟
トラクター	46PS、55PS	2台
ビニールハウス	12a、17a	2棟
ショウガ溝切機	4PS	2台
ショウガ畝戻し機	4PS	2台
ショウガハーベスタ	5.6PS	1台
ショウガ予冷庫	39.68㎡	1台
ショウガ運搬車	10PS、積載1200kg	1台
予冷施設（56㎡）	56㎡	1棟

【課題・今後の取組】

- （一社）四万十農産や集落活動センターと連携して、令和6年度から事業内容を変更し、地元農産物の加工販売や観光農園を主体に活動を行い、地域内外から人が集まる仕組みを構築し、地域活性化を目指す。